

鉄道網の整備について

【担当省庁：国土交通省】

1 JR線の整備推進のための助成制度の創設等

● JR線等の幹線鉄道の整備については、広域的な地域間の連携の強化や地域の活性化に資する事業であり、『幹線鉄道等活性化事業費補助』等の助成制度があるものの、補助対象は法定協議会もしくは自治体の出資に係る鉄道施設の整備・保有を目的とする法人に限られている。

今後のJR線整備をより機動的に進めるためにも、**JRへの直接助成制度**を創設し、下記の整備を**積極的に支援**していただきたい。

- ・ JR山陰本線 高速化・複線化（園部～綾部）
- ・ JR奈良線 高速化・複線化（JR藤森～宇治、新田～木津）
- ・ JR片町線 高速化・複線化（松井山手～木津）
- ・ JR関西本線 複線化（木津～加茂）
電化・複線化（加茂～月ヶ瀬口）

● これらの幹線鉄道の整備効果は、沿線に留まらず交流人口の拡大など広域に及び、近年の激甚化した災害等への対応が必要であることから、財政力の脆弱な沿線自治体が整備費を負担する場合には、**自治体への助成制度創設**など必要な予算を**十分確保**いただきたい。

京都府の担当課

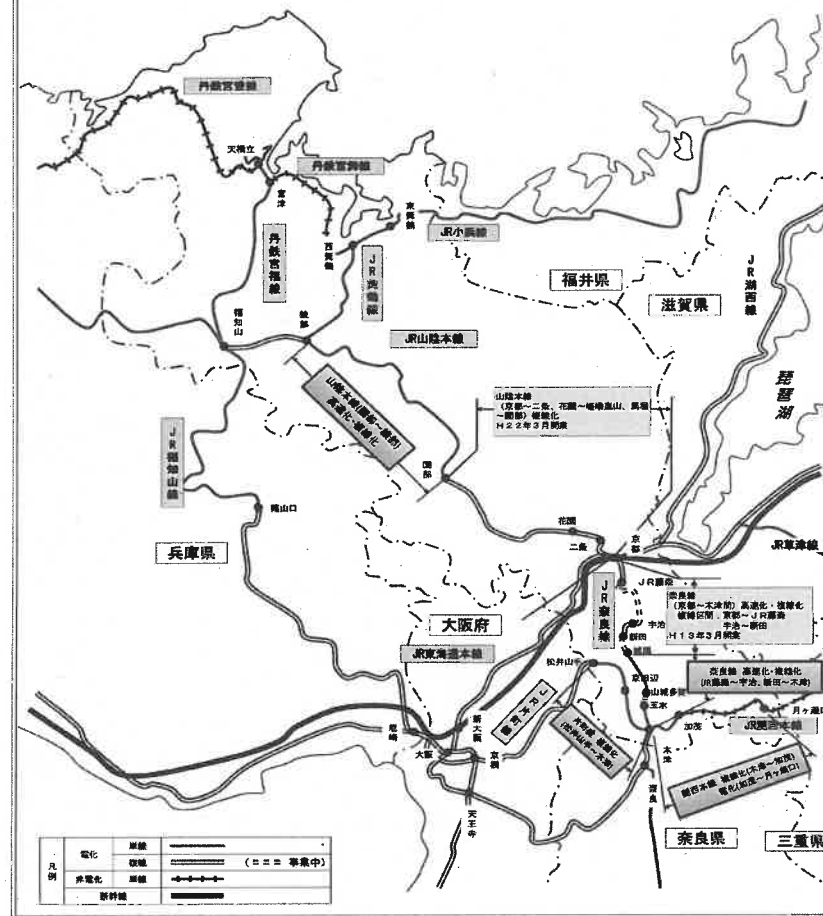
建設交通部 交通政策課 (075-414-4360)

■府域の鉄道整備状況の状況

府域鉄道整備状況と事業箇所図

平成30年4月時点

	S53	S58	S63	H5	H10	H15	H29
電化率 (%)	府 6.9	6.9	34.1	58.2	80.0	93.3	93.3
全国	38.3	42.1	50.3	55.0	54.8	55.6	55.7
複線化率 (%)	府 11.5	11.5	14.1	18.4	18.4	22.7	32.2
全国	26.4	27.2	31.3	33.0	33.0	33.1	32.7



2 北近畿タンゴ鉄道に対する支援制度の拡充等

鉄道事業再構築を実施し、平成27年4月から京都丹後鉄道として再出発した北近畿タンゴ鉄道は、国が進める地方創生に地域鉄道として大きく寄与するものであり、安定的な経営体制の確保のため、次のとおり補助制度の拡充等をしていただきたい。

- 「鉄道軌道安全輸送設備等整備事業」について、今年度の予算配分において、格別の御配慮をいただいたところであるが、制度面等について以下のとおり対応願いたい。

- ・ **補助率の拡大**（※ 一律1/2へ引上げ）
- ・ 大規模計画修繕に限定して措置されている補助対象を、**小規模な軌道整備、信号保安施設整備等の修繕にも拡大**
- ・ **鉄道事業再構築実施計画に基づく、計画的な設備投資や修繕事業を着実に実施するために必要な予算の十分な確保**

- 観光庁予算「訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業」における車両全般検査等について、鉄道事業再構築特例と同様に補助率を拡大していただきたい。(1/3→1/2)

■概算要求【国土交通省】

- ▶ 地域公共交通確保維持改善事業 293億円（平成30年度予算3億円）
- ▶ 訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業 77.6億円（平成30年度予算85.3億円）

■現在の制度概要

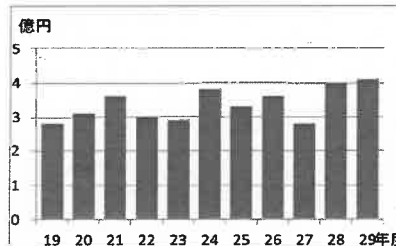
事業名	事業概要	補助対象	補助率
鉄道軌道安全輸送設備等整備事業	安全な鉄道輸送を確保するために地域鉄道事業者が行う安全性の向上に資する設備の更新等を支援	信号保安設備、防護設備、線路設備等のうち、大規模な修繕（非公共には車両更新を含む。）	【国1/3】 ただし、鉄道事業再構築を実施した場合、 財政力指数0.46未満の自治体の場合は国1/2、それ以外は国1/3※
訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業	訪日外国人旅行者等の移動に係る利便性及び安全性の向上の促進を図るための環境整備を支援	車両設備の整備等（安全性の向上に資する車両の走行装置、動力発生装置、ブレーキ装置等の大規模修繕）	【国1/3】

■北近畿タンゴ鉄道(株)の鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費にかかる予算措置額

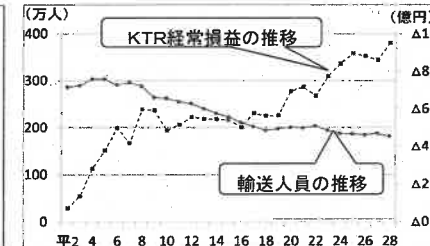
	事業費	補助額	事業内容
平成30年度 平成29年度補正含む	691	274	車両更新、レール交換、PCマクラキ化 等
平成31年度	793	397	

(百万円)

■北近畿タンゴ鉄道(株)の状況



図：車両修繕費の推移



図：輸送人員及び経営損益の推移